

## 選択肢提示に関する医療スタッフのあり方に関する研究

研究分担者 名取 良弘 飯塚病院 副院長、脳神経外科部長

### 研究要旨：

先行研究では、急性疾患で終末期を迎えた患者の家族にとって、治療に直接関与しない職員の介入が、医療全般の満足度を向上することが明らかとなった。しかし、看護系職員が直接治療に関与しない立場で介入しても、十分に認識されなかった。看護系職員の介入を明確にするため、患者家族へ冊子を渡すことを実施したことで、患者家族の認識ができ、患者家族の医療全般の満足度は有意に向上した。本施設の活動を他施設に展開するため、他施設へ関連情報を送付し、各施設における終末期対応が可能な職種やそのタイミングについて検討を開始した。

### A. 研究目的

先行研究(厚生労働科学研究費補助金(移植医療基盤整備研究事業)分担研究)において、急性疾患で終末期となった患者家族に対して、担当医師・担当看護師以外の治療に直接関与しない職員が介入したことで、患者家族の医療の満足度が有意に向上した。一方、看護系職員の関与は、治療の一環と家族は見なすため、効果が見られないことが示唆された。

本年度は、先行研究の最終段階で作成された職員の立場を明らかにする目的で作成した患者家族へ渡す冊子の効果を明らかにすること。さらに施設を超えた展開の可能性を探求することとした。

### B. 研究方法

#### 【急性期疾患で死亡退院した患者家族へのアンケート調査】

先行研究で2018年1月より実施している急性疾患で死亡退院した患者家族へのアンケート調査を継続した。アンケートの匿名化のため、先行研究では調査年度が明確ではなかった。同じ用紙を使用する本年度研究の結果を区別するため、本年度の調査用紙は、B5サイズ(先行研究はA4サイズ)に変更した。

実施は先行研究同様で以下の通り。

- 1) 脳神経外科入院患者の入院時に、患者家族に退院後に任意のアンケート調査があることを伝える書類(別紙1)を渡す。

当院では、死亡退院以外の患者家族には、退院時にアンケート調査を行っているが、死亡退院の場合には行っていない。今回の調査は、現在行っていない死亡退院患者家族へのアンケートであり、用紙は後日自宅へ送付する方法をとるため、事前のアナウンスが必要と倫理委員会から指摘されたため、別紙1の用紙を、脳神経外科に入院する患者家族すべてに渡すこととした。

- 2) 死亡退院後、50日を経過したのち、アンケート用紙(別紙2)を患者家族(入院時登録されたキーパーソン1)の自宅に返信用の封筒を入れて送付する。
- 3) 返送されたアンケート用紙を集計分析する。

(倫理面への配慮)本調査は、飯塚病院倫理委員会で審議の上、承認された。(平成30年1月10日：R-17190)

#### 【協力施設への展開】

2019年度から、本施設は(社団)日本臓器移植ネットワークによる臓器提供施設連携体制構築事業の拠点施設に選ばれ、2020年度は15施設と連携した。この15施設に向けて、先行研究結果を含めた本研究の骨子を説明する学会発表や講演データ(本年度の学会講演などで動画として記録され、Web配信に使用された資料が中心で、動画のため大容量)を送付した。

各施設内では、臓器提供にかかわるメンバーに回覧していただき、急性疾患で終末期となった患者家族に対しての対応可能な方策を検討した。

### C. 研究結果

#### 【急性期疾患で死亡退院した患者家族へのアンケート調査】

##### 1) 返信率

本年度は39例に送付し、返信は23例であった。本年度の返信率は、59.0%であった。先行研究の返信率は40% (103例中41例) であり、返信率の上昇があった。なお、本年同時期の一般の調査(転院もしくは自宅退院した患者に対しての同様の退院時調査)の返信率が33%であり、先行研究同様に本研究の返信率が高かった。

##### 2) 多職種介入の患者家族の認識

患者家族は、担当医師・担当看護師以外の治療に関与しない職員(“第3の職員”)の介入を9例(39.1%)で希望し、8例(34.8%)で介入を認識していた。

先行研究では、返信例41例中6例(14.6%)で介入希望、5例(12.2%)で介入認識であり、有意な増加が見られた。

介入と認識された職種は、先行研究では、MSW(メディカルソーシャルワーカー)もしくはリハビリ療法士であったが、本年度の調査では、この2職種に加え、看護師長と看護助手という返答が見られた。看護師長という回答数は、MSWと同数の3例であった。

患者家族の医療の満足度に着目し、満足を5、不満を1とした5段階評価で解析すると、介入希望の有無では、有:4.33±0.52(n=9)、無:4.38±0.77(n=13)で有意差無かった。介入認識の有無では、有:4.75±0.46(n=8)、無:4.21±0.70(n=14)で、介入が高い傾向であったが、有意差は認めなかった。介入希望があった9例中、介入認識があった6例と、介入認識が無かった3例で比較すると、希望有・認識有:4.50±0.55、希望有・認識無:3.67±0.58で、有意差を認めた。

#### 【臓器提供の意思確認】

MSWが介入した10症例のうち、3例でMSWが『臓器提供の意思確認』を行った。1例で、患者家族よ

りMSWに対して臓器提供の希望が示されたが、院内コーディネーターの説明により、最終的に臓器提供は希望されなかった。

#### 【協力施設への展開】

資料の配付は、コロナ禍第3波の時期に重なったため、各施設では会議の開催規制が行われており、院内での十分な検討ができなかった。そのため、各施設それぞれでの“第3の職員”に適切な人材の検討ができず、次年度に持ち越しとなった。

### D. 考察

本年度の研究は、先行研究と同じアンケート用紙を用いたものであったが、2つの点で異なっていた。

まず、先行研究で作成した、患者家族の介入の認識を高めるため患者家族へ渡す冊子(別紙3)を調査期間全般にわたり使用したことであった。本冊子は、ほぼ全例で病棟看護師長が治療に直接関係しない立場で家族へ介入していたにも関わらず、患者家族から看護師長の介入があったと認識されなかったことを踏まえて作成された冊子である。

2つめは、コロナ禍の影響である。本年度は、患者家族の面会禁止(もしくは制限)がほぼ一年中行われ、患者家族が医療者と面談する機会が明らかに減少した。

上記の2つの変化の中で、先行研究と比べ、返信率の上昇、“第3の職種”の介入希望および認識の増加が見られた。後者の影響(面談機会の減少)は、いずれもマイナス方向に影響を及ぼすと考えられ、今回の上昇(増加)は、前者の冊子の使用が大きく影響したと考えられる。また、口頭ではなく、冊子を使用し持ち帰りいただくことも、患者家族の認知度向上と安心感にもつながっていると思われる。

治療に直接関与しない担当医師・担当看護師以外の介入を希望する家族が、本研究で約40%に存在し、実際の介入の有無で医療の満足度に有意差が生じたことは、先行研究同様に看過できない。また、介入を希望していなくても、介入を行うことで、満足度が向上する傾向があった点でも、介入の意義は高い。先行研究では、24時間以内死亡例(介入困難例)の患者家族の満足度が低かった点から

も、介入の重要性が認識される。入院から24時間以内の超急性期からの対応を行うことには、人材の配置と働き改革という点で、実施は困難と考えられるが、何らかの措置が必要と思われる。一方、看護職員は24時間対応可能である。先行研究では、家族は、病棟看護師長による介入を“第3の職員”の介入とは認識していなかった。しかし、本年度の研究では、冊子の使用により、病棟看護師長と担当看護師が識別され、“第3の職員”の介入と認識された。冊子の効果が明らかであった。

MSWが介入した症例のうち、3例でMSWが『臓器提供の意思確認』を行った。患者家族と数回の面談を行ったMSWにとって、終末期の意思決定支援を行うことは至極当然のことであり、その一環としての『臓器提供の意思確認』は、極めて自然なことでMSWは認識していた。

3例中1例で、患者家族よりMSWに対して臓器提供についての詳細な話を聞く希望が示されたが、院内コーディネーターの説明を行い、最終的に臓器提供は希望されなかった。これは、コロナ禍の中、本施設では基本的に面会禁止の下、看取り患者に対しては患者家族面会(付添)を特例として認めていた事に起因しているのもであって、院内コーディネーターの説明が問題では無かった。看取りと判断し、個室に移動した時点で患者家族が付き添える環境となったが、臓器提供という選択をすると、ICUへ戻り患者家族が付き添えなくなることを患者家族が希望しなかった事によるものであった。個室に移動する前に『臓器提供の意思確認』を行うべきと考える向きもあるが、患者家族とMSWとの関係構築ができる時間を考えると対応困難な症例は多いと考える。

(社団)日本臓器移植ネットワークによる臓器提供施設連携体制構築事業の連携施設への資料の配付は、コロナ禍第3波の時期に重なったため、各施設では会議の開催規制が行われており、院内での十分な検討ができなかった。本年度の研究結果から、冊子などを配布して看護師長の役割を明確にすれば、特段の職員配置が必須ではないと考えられることは、各施設には実施が容易になったと思われる。その点では、本年度各施設で十分な検討会議が開催できず、次年度に繰り越したことは、結果的に幸いだったと考えられる。

## E. 結論

職員の立場をきちんと説明する冊子を配布すれば、急性疾患の終末期に患者家族対応を行う職種は選ばないことが示された。

終末期の意思決定支援として介入しているMSWによる『臓器提供の意思確認』は、自然な流れとして、MSWならびに患者家族から受け入れられると考える。

## F. 健康危険情報

## G. 研究発表

1. 論文発表  
なし
2. 学会発表  
なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

## 脳神経外科に入院する 患者さんならびにご家族へ

飯塚病院 脳神経外科では、主治医制ならびに当直制をとっております。主治医が不在の際には、当直医が代理で診察・処置を行うことがあることをご理解ください。

また、脳神経外科では、医療の質を向上させるために、入院加療をされた患者・家族の皆様への支援が十分に行えているかのアンケート調査を行わせて頂いております。退院後に、調査用紙を入院時に登録された現住所に送付させて頂くことがあります。現住所への送付が不都合な際にはお申し出ください。

なお、調査に参加していただくかどうかは、皆さんの自由意志です。退院後の調査のため、参加の有無による今回の入院治療内容に影響はありませんし、無記名調査のため、その後の外来などでの治療内容にも全く関係がありません。

ご質問がありましたら、脳神経外科主治医にご相談ください。

飯塚病院 脳神経外科部長 名取良弘

## 脳神経外科に入院された患者さんのご家族のみなさんへ アンケート調査へのご協力のお願い

「日本一のまごころ病院」を目指す飯塚病院では、まごころの込められた「最適医療」を提供するために、入院された患者さんにアンケートへのご回答をお願いしています。これまでも、患者さんが退院される当日にアンケートをお願いし、ご回答頂いたご意見を、より良い病院運営に役立ててまいりました。

その一方で、お亡くなりになって退院されました患者さんのご家族には、ご意見を頂く機会がございませんでした。これは、飯塚病院に限らず、日本のほとんどの病院が同様にご家族のお気持ちを察して調査を行っておりませんでした。

しかし、大切なご家族の一員である患者さんと病院で最期の時間を共に過ごされましたご家族にこそ、ご意見を頂戴すべきと考え、このアンケート調査を行うことといたしました。

もちろん、ご回答を強制するものではありません。回答されない場合でも、今後、飯塚病院での受診や治療、看護などでご家族が不利益となることは一切ありません。回答の可否については、ご家族がご自由にお決めください。回答を見合わせる場合は、ご面倒をおかけしますが、この用紙を破棄してください。

このアンケートには、患者さんやご家族個人を特定する情報はございません。この調査結果を医療の改善を目的として学会や公的資料として使用する場合も、集計されたデータとして使用し調査目的以外の利用は行いません。

このような趣旨にご賛同いただき、アンケートにご協力いただけます場合は、御面倒をお掛けしますが、ご回答の後、添付の封筒に入れて、ご返送ください。よろしくご検討のほど、お願い申し上げます。

飯塚病院 副院長

脳神経外科 部長

名取 良弘

■【問1】～【問10】の質問につき、回答を1つ選び当てはまる回答に○印をつけてください。  
□には自由にご意見をお書きください。

【問1】入院されていた患者さんの性別を教えてください。

女	男	その他
---	---	-----

【問2】入院されていた患者さんの年齢を教えてください。

15歳未満	15～19歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳
35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳
85歳以上				

【問3】今回、患者さんが入院されていた期間を教えてください。

24時間以内	1～3日	4～7日	8日～14日	15日～30日	30日以上
--------	------	------	--------	---------	-------

■ご回答されているご家族(あなた)へ伺います。

【問4】あなたと患者さんとの関係を教えてください。

配偶者	親	子ども	親戚(兄弟など)	その他
-----	---	-----	----------	-----

【問5】あなたの年齢を教えてください。

20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上

【問6】あなたは「担当医師」についてどう思いましたか？当てはまる数字を○で囲んでください。

	大変良い	良い	どちらでもない	やや悪い	悪い	わからない
1. 治療全般について	5	4	3	2	1	0
2. 病気の状態や検査・治療に関する説明について	5	4	3	2	1	0
3. 患者さんのご質問や訴えへの対応について	5	4	3	2	1	0

【問7】あなたは「看護師」に関する下記の事項はどう思いました？当てはまる数字を○で囲んでください。

	大変良い	良い	どちらでもない	やや悪い	悪い	わからない
1. 看護全般について	5	4	3	2	1	0
2. 患者さんのご要望やご相談への対応について	5	4	3	2	1	0
3. ナースコールの対応について	5	4	3	2	1	0

【問8】あなたは「入院」に関する下記の事項はどう思いましたか？当てはまる数字を○で囲んでください。

	大変良い	良い	どちらでもない	やや悪い	悪い	わからない
1. 病室環境・院内設備	5	4	3	2	1	0
2. 食事	5	4	3	2	1	0
3. 職員の言葉遣い	5	4	3	2	1	0
4. 職員の身だしなみ	5	4	3	2	1	0
5. プライバシー保護	5	4	3	2	1	0
6. 安全面	5	4	3	2	1	0

【問9】 今回の入院中、担当医師・看護師以外に、患者さんの治療以外の内容について、相談できる職員がいれば、相談したいことがありましたか？

あった	なかった
-----	------

【問10】 今回の入院中、担当医師・看護師以外に、ご家族のご相談に応じた当院の職員はいましたか？

いた	いなかった
----	-------

\* 「いた」と答えた方は、10-1～10-3の質問にお答えください。

10-1：対応した職員の職種をお答えください。（複数対応した場合には、全て選んでください。）

ソーシャルワーカー (相談員)	臨床心理士	病棟 看護師長	病棟事務員	リハビリ 担当スタッフ	その他
--------------------	-------	------------	-------	----------------	-----

\* 「その他」の職種がわかれば、具体的にご記入ください。➤

10-2：担当医師・看護師以外の職員は親身になってお話を伺っていましたか。

全て聞いて もらえた	だいたい聞いて もらえた	どちらでもない	あまり聞いても らえなかった	全く聞いてもら えなかった
---------------	-----------------	---------	-------------------	------------------

10-3：ご家族の相談について、担当医師・看護師以外の職員の対応は満足いくものでしたか。

満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
----	------	---------	------	----

【問11】 今回の脳神経外科病棟での入院生活全般について、ご家族としての感想をお聞かせください。

満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
----	------	---------	------	----

【問12】 今後、ご家族や友人に当院（飯塚病院）を勧めようとお考えですか？

是非、勧めたい	どちらかといえば 勧めたい	どちらでもない	あまり勧めない	絶対に勧めない
---------	------------------	---------	---------	---------

■ご意見・ご要望等がありましたら、ご記入ください。

改善の結果報告をご希望の方は、ご連絡のため お名前、ご連絡先をご記入ください。

御面倒をお掛けして申し訳ありませんが、アンケートは、添付の封筒に入れてご投函ください。  
ご協力誠にありがとうございました。

## ご相談の窓口

病棟	
病棟看護師長	
担当ソーシャルワーカー	

### ①電話の場合

病棟：0948-22-3800（代表）

※担当病棟をお呼び出してください

ソーシャルワーカー：0948-29-8069（直通）

※平日8:30～17:00まで

※担当ソーシャルワーカーをお呼び出してください

### ②ご来院の場合

病棟のスタッフステーションで  
お尋ねください

当院のサポート体制について



**飯塚病院**

innovate and evolve

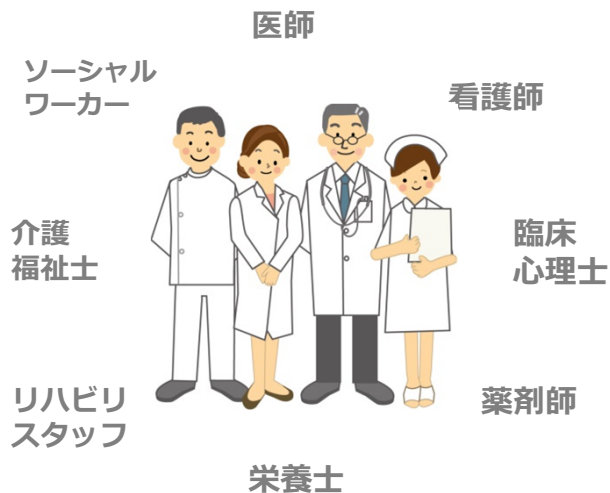


## ご家族の皆さまへ

急な入院・治療に伴い、ご家族のご心労はいかばかりかとお察しいたします。

当院では、ご家族に対しても、気持ちの辛さやご心配について、医師・看護師・ソーシャルワーカー等の多職種がチームとなり、サポートを行っています。

チームで患者・家族のサポートを行います



## ご家族だけで悩んでいませんか？

相談できることの例

### 医療者とのコミュニケーションに関すること

- ・ 医師の説明をもう一度聞きたい
- ・ 医師に何を聞けばいいのか分からない
- ・ 医師に疑問や希望をうまく伝えられない
- ・ セカンドオピニオンについて知りたい

### ケアに関すること

- ・ 入院中の療養環境やケアについて相談したい
- ・ 家族もケアに参加したい

### 心のこと

- ・ 不安な気持ちや思いを聞いてほしい

### 療養生活に関すること

- ・ 今後の療養の場所やサポートについて
- ・ 経済的な心配
- ・ その他、社会的な困りごと